

常任委員会報告

9月17日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（9月11日）

質問 議案第78号令和2年度小城市一般会計補正予算（第7号）の、電子入札システム導入で、制度や様式に変化はあるか、また受付から開札までの手順はどうなるか。

答弁 制度が大きく変わることはない。手順は他市では2日間で入札を受け付けている事例が多い。開札当日まで見ることができないシステムを構築する。

質問 テレワーク推進事業について、庁舎内ネットワーク整備とセキュリティの考え方は、また市役所業務でテレワークが可能か。

答弁 本庁舎全体で使えるようにWi-Fi環境を整備する。セキュリティについては暗証番号を入力し利用できるスタイルと市の職員しか利用できないスタイルを使い分ける。またテレワークは個人情報を含まない業務等では可能と考えている。

質問 マイナンバーカードの普及率は、マイナポイント制度の影響は。

答弁 8月末で7,445枚発行している。制度導入後5カ月で昨年を上回る1,389枚発行しているので影響は大きい。



▲普及率が上がってきたマイナンバーカード

文教厚生常任委員会（9月10日）

質問 議案第68号小城市立認定こども園設置条例について、園長の職責と報酬は見合うのか。

答弁 現在は校長退職者を採用し、身分は会計年度任用職員となり、勤務時間を5時間45分として報酬を調整している。来年度開園する認定こども園については、正規職員を配置したい。

質問 議案第78号令和2年度小城市一般会計補正予算（第7号）の児童センター事業について、2名の欠員により報償費が減額されているが、今後はどう対応するのか。

答弁 保育士資格等を必要とするため、現在もハローワークに常時募集をかけている。

質問 新公立病院建設事業の例規作成業務の内容は。

答弁 設計施工などの発注主体を一部事務組合と考えているため、一部事務組合を設立するための設置条例を作成するものである。

質問 教育情報化推進事業について、小中学生1人1台のパソコン配置の前倒しをどのように考えているのか。

答弁 コロナ禍により、新たな学校生活のあり方として取り組むものであり、ICT利活用には取り組む必要があったと考えていた。



▲1人に1台配置される予定の学習用パソコン

産業建設常任委員会（9月14日）

質問 議案第78号一般会計補正予算（第7号）中山間地域等支援事業について、実績のある業者に委託したいとは、具体的にどのような業者なのか。また、当初予算で計上できなかったのか。

答弁 例えば現在江里山地区に県の事業で棚田コーディネーターが居住している。棚田に関しては意見を聞きながら業者選定を進めたいと考えている。補正予算で計上したのは、棚田振興法が昨年8月に施行され、小城市が指定区域の申請を行ったのが今年に入ってからで、認定を受けたのが今年3月であり、当初予算に計上できなかったためである。



▲江里山の棚田